



- 社名(商号) : 株式会社エナリス
- 本社所在地 : 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1  
御茶ノ水ファーストビル14F
- 株主構成 : auエネルギーHD(株)59% 電源開発(株)41%
- 事業エリア : 全国
- 公式HP : <https://www.eneres.co.jp/>
- サービスサイト : <https://www.eneres.jp/>

## エナリスのソリューション

### 事業概要

- エナリスが展開する3つの核心的なアプローチにより、企業がカーボンニュートラルを実現する過程を全面的にバックアップします。

01



#### 環境イニシアチブとの連携

- 企業や団体とのネットワーキングなどを通じ、脱炭素社会の実現に貢献する、より高度なソリューションの開発に取り組みます
- 企業の脱炭素に向けた取り組みへ、信頼性の高いサポートやアドバイスを提供いたします

02



#### 総合的解決サービス

- 一気通貫のサービスにより、継続的かつ最適なソリューションを幅広く提案します
- 協業パートナーのサービスも積極的に導入してソリューションを補完し、お客様企業の課題解決へ全面的にサポートします

03



#### 経済的持続可能性

- 企業が脱炭素化とコスト（財務）のバランスを見極めながら効果的な施策を進められるようサポートします
- 環境と経済の持続可能性を同時に追求する戦略で、企業の経済的な脱炭素化を実現します

## エナリスのソリューション

### 法人向けサービス

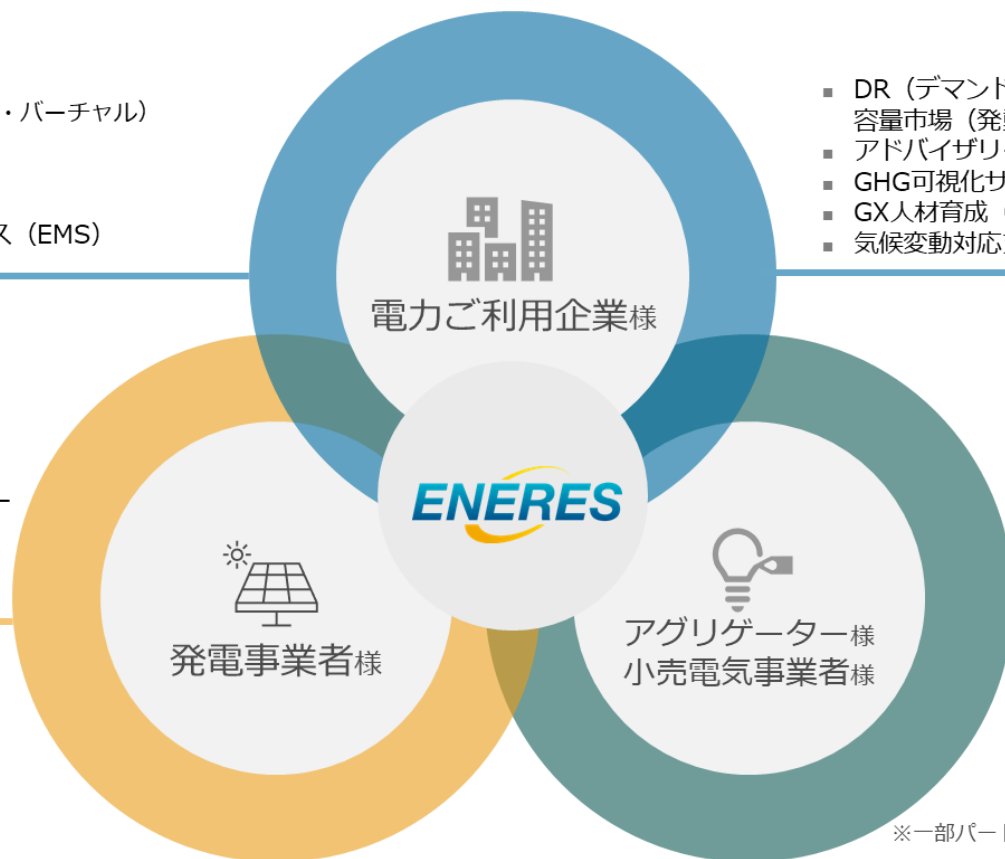
- エナリスは**エネルギー分野の各プレイヤー**に向けて脱炭素に貢献するソリューションを提供し、脱炭素社会の実現を目指しています。
- 電気を「使う」と「届ける」それぞれのサポートを通じて、これからも電気が効率的に利用されるためにサービスを提供いたします。

- 電力小売／電力取次販売
- オフサイトPPA（フィジカル・バーチャル）
- オンサイトPPA
- 自己託送支援
- 非化石証書仲介販売
- 電力見える化・制御サービス（EMS）

- DR（デマンドレスポンス）  
容量市場（発動指令電源）／需給調整市場
- アドバイザー（脱炭素推進計画策定支援）
- GHG可視化サービス
- GX人材育成（オンライン学習サービス）
- 気候変動対応支援（情報開示／外部報告等）

- 再エネアグリゲーション
- 再エネ買取
- SaaS提供（系統用蓄電池）
- 系統用蓄電池アドバイザー
- FIPのプレミアム試算
- Jクレジット組成／販売
- 容量市場（変動電源）

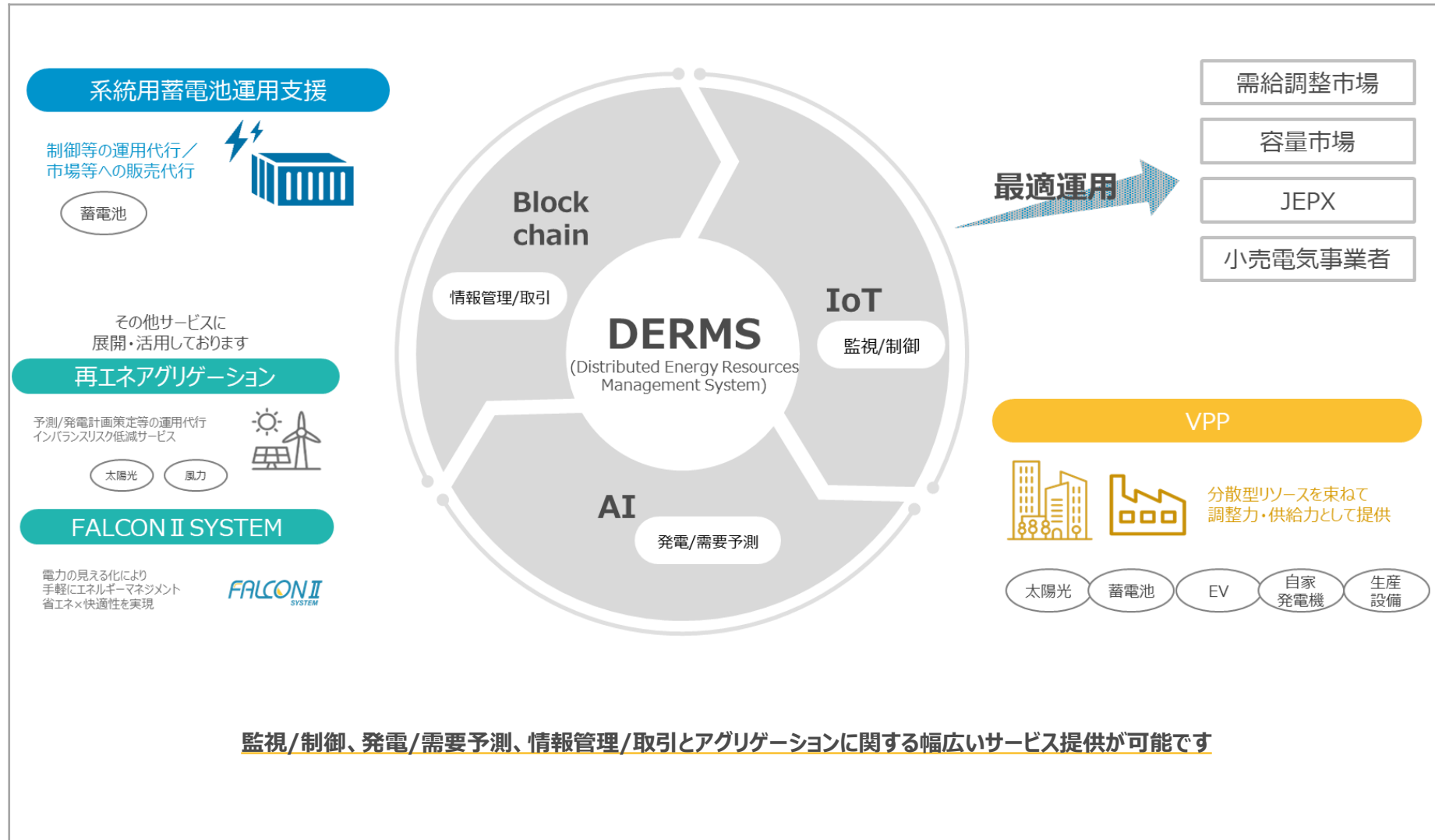
- SaaS提供（DERアグリゲーション）
- 事業立上げコンサルティング
- 再エネ電源調達支援
- 需給管理
- VPP支援



※一部パートナー企業との連携を含みます

## エナリスのソリューション

### アグリゲーションに関する各種サービス

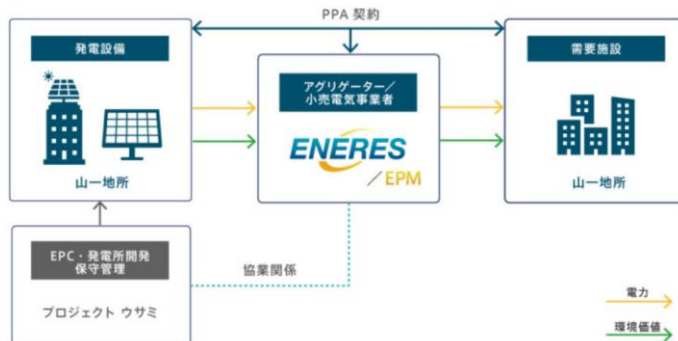


## 取組み概要・オフサイトPPA

・オフサイトPPAは低圧需要拠点への導入事例が少ない中、低圧施設3拠点を含む全7拠点へ再エネを供給するオフサイトPPAを実現

・山一地所が所有する発電設備（宮城県内）で創出された再エネ電力（年間約15万kWh）をオフサイトPPAで供給し、不足分はEPMから実質再エネを供給することで、山一地所の全需要拠点の使用電力を、実質100%再エネ化

・この契約により、年間で約71.6t-CO<sub>2</sub>の排出量削減が想定



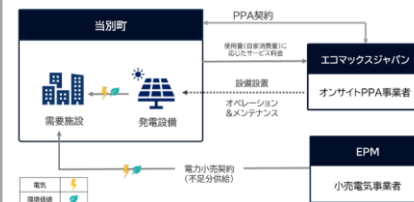
事業者	(株)山一地所、(株)プロジェクト ウサミ、エナリス、エナリス・パワー・マーケティング
当社役割	アグリゲーション、電力小売
供給開始	2025年12月1日
発電所	宮城県柴田郡村田町
発電容量	計147,023kWh/年（想定）
CO2排出削減量	計71.6t-CO <sub>2</sub> /年（想定）

・当別町PPA方式による太陽光発電設備導入事業公募型プロポーザルの最優秀者に選定

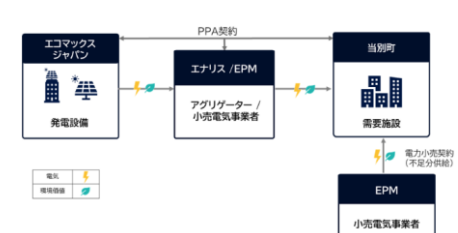
・北海道の地元企業であり多くの太陽光発電所の工事・管理実績のあるエコマックスジャパンとエナリス、EPMの3社は、本事業の実施にあたり、共同事業体として「当別町クリーンエネルギー共同事業体」を設立

・当別町の気象条件や用地要件、契約年数、これまでの実績等から最適な発電設備を選定し、以下のPPA方式を導入する計画

### オンサイトPPA（計画）



### オフサイトPPA（計画）



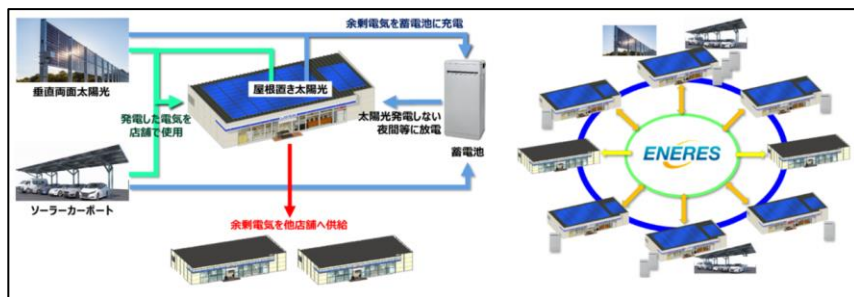
事業者	(株)エコマックスジャパン、エナリス、エナリス・パワー・マーケティング
当社役割	運用業務、蓄電池充放電制御
所在地	北海道石狩郡当別町
供給開始	2026年4月以降（予定）

## 取組み概要・需給管理

・群馬県内のローソン26店舗に蓄電池設備を設置し、うち2店舗にソーラーカーポートや垂直両面太陽光などの太陽光発電設備を設置し、太陽光発電設備や蓄電池設備を設置することができない6店舗を加え、合計32店舗の電力を最適に統合制御する検証を実施

・エナリスの発電量予測技術や蓄電池の制御技術を活用し、店舗で発電・蓄電された再生可能エネルギーの電力を、太陽光発電設備の設置が困難な他店舗へ融通

・災害時には蓄電池を活用し、照明やレジなどコンビニエンスストアの基本的な運営機能を維持することで、地域レジリエンスへ寄与



事業者	KDDI(株)、auエネルギーホールディングス(株)、(株)ローソン、エナリス
当社役割	本実証の設計、運用業務、蓄電池充放電制御
実施場所	群馬県内 ローソン32店舗
実証開始	2025年11月

## 取組み概要・系統用蓄電池

・ネットワークセンターの敷地内に大型蓄電池を設置。電力系統に直接接続し、電力需給ひっ迫時に調整力を供出するなどの充放電を実施

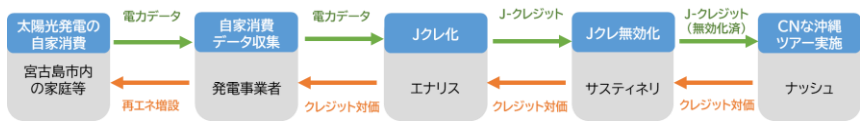
・各電力市場取引を通じて電力系統の安定化に寄与



事業者	auリニューアブルエナジー(株)、KDDI(株)、東京電力ホールディングス(株)、エナリス
当社役割	運用業務、蓄電池充放電制御
所在地	栃木県小山市
蓄電池容量	5,608kWh
事業開始	2025年 10月 (予定)

## 取組み概要・J-クレジットを介した環境価値の地産地消

- 宮古島市の家庭から電力消費データを集約し、太陽光発電を自家消費することによって生じた環境価値をJ-クレジット化。地元企業のサービス提供に伴うCO2排出量のオフセットに充当
- 地域の再エネ自家消費で生まれた環境価値を切り離し、地域内での有効活用を支援



県内で出来た環境価値を県内の必要としている事業者が活用  
→環境価値の地産地消

事業者	(株)NASH、Sustineri(株)、エナリス
当社役割	電力データ集約、環境価値のJ-クレジット化
対象地域	沖縄県宮古島市
取組開始	2024年3月

## 取組み概要・24/7カーボンフリー電力

- 喜多方市の大和川酒造店豊蔵の太陽光発電所で発電された再生可能エネルギーをポータブル蓄電池に充電し、イベントで使用する電力の一部に充当
- 充電/使用実績は、サイネージで確認できるようにすることで、「24/7CFE」であることを証明



再生可能エネルギーの充電



再生可能エネルギー使用実績の表示

事業者	(資)大和川酒造店、エナリス
当社役割	エネルギーマネジメントシステム構築、充電/使用実績の可視化
対象地域	福島県喜多方市
取組開始	2024年9月